

1. 今年度業務の目的と基本的な考え方

1. 今年度業務の目的と基本的な考え方

1-1. 今年度業務の目的

(1) 普天間飛行場の跡地利用に関する取組状況

「普天間飛行場の跡地利用の促進及び円滑化等に係る取組分野ごとの課題と対応の方針についての取りまとめ」を受けて、「普天間飛行場関係地権者等意向把握全体計画（平成13年度）」が策定された。その後、「跡地利用計画」、「地権者等意向醸成」などについて、継続的に取組んでいる。

＜各種調査業務の主な取組み状況＞

①中南部広域構想（県業務）

広域構想の現状整理及び跡地利用の方向性について継続的に検討し、広域構想の改定骨子案を作成した。

②普天間飛行場跡地利用計画（県市共同業務）

跡地利用計画については「跡地利用基本方針、行動計画の策定」、キックオフ・レポート（土地利用・環境づくり提案）の作成、「全体計画の中間取りまとめ（素案）作成」、「全体計画の中間取りまとめの策定・更新」という流れで段階的に具体化が進められている。

令和4年度は、委員会案を基に庁内意見の反映や新たな振興計画との整合を図り、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」を策定・公表。また、「行程計画（更新案）」の見直し検討及び有識者への意見聴取を行った。

令和5年度は、跡地利用計画策定に向けた「全体計画の取りまとめ」に向けて、「行程計画の更新」や「行程計画に基づく取組の実施（目標を定め重点的に取組む項目に関する検討）」が行われている。

③(仮称)普天間公園（県業務）

令和2年度に策定・公表された「(仮称)普天間公園基本構想（たたき）」の更新、国が設置する公開空地についての事例調査などが行われている。※令和5年度より業務再開。

④地権者等意向醸成（当該業務）

合意形成に向けた場づくり・人づくり・組織づくり等の活動を長期的展望のもとに展開し、「普天間飛行場の跡地を考える若手の会（以下、若手の会）」の組織化等が行われている。

令和4年度は、定例会活動に加え、地権者や市民誰もが宜野湾市のまちづくりを学べる場の創出に向けた取組みとして「まちづくり講座」を継続開催する等、地権者・市民が共に跡地利用計画について考える事のできる場づくりを進めてきた。

今後は、返還までの期間や成熟具合等を勘案しながら、将来的な組織の自立化やあり方について次なる段階へ向けた取組みを進めていく。

(2) 本業務の目的

今後の「跡地利用計画」策定に向け、継続的に計画内容の具体化に向けた検討が進むにつれ、普天間飛行場及び周辺市街地においてもまちづくりの機運向上が進むものと考えられる。

合意形成活動の輪を広げる取組みや組織強化は継続して実施することに意義があることから、今年度は「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」の主な検討内容の周知を図るとともに、「跡地利用計画(素案)」策定後の事業化に向けた対応を見据え、跡地利用及び周辺市街地のまちづくりに対する関心向上に向けて活動の輪を広げていくことを目的としている。

1-2. 今年度業務の基本的な考え方

前頁の目的を踏まえ、今年度業務の取組み方針と基本的な考え方は、以下の通りとした。

【取組み方針と基本的な考え方】

取組み方針	考え方
地権者、市民の跡地利用及び周辺市街地のまちづくりへの関心を高め、活動の輪を広げる	令和4年度に「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」が策定・公表され、計画の進捗に合わせて地権者・市民の意見が今後も継続して求められる事となる。 特に市民に対しては、跡地利用計画の内容が周辺市街地のまちづくりにも密接に関わってくる事となる。 そのため、地権者・市民の跡地利用に対する意識・関心の向上、まちづくりに関する活動の輪を広げる取組みを進めていく。
将来的に地権者・市民をけん引する人材の育成と組織の強化に取組む	若手の会について、まちづくりをけん引する人材の育成を継続して進めると共に、組織の更なる強化を図る取組みを進めていく。市民については、市内各種団体を対象に情報提供、意見交換の場を設けて、今後のけん引役となる人材の掘り起こしを目的として取組みを進めていく。

これらを踏まえ、今年度業務では、地権者に対し引き続き若手の会を中心とした組織強化と跡地利用に関する検討の深度化を継続的に図るとともに、地権者の興味関心を促すことを目的として、若手の会の検討テーマに則した県内事例視察としてのフィールドワークを新たに実施する等、今後の事業化を見据えた取組みを進めた。

また、市民に対し、跡地利用への関心向上に向けた継続的な情報発信や各種取組みを行う事と併せ、今後のまちづくりの中心となる市内小学校児童への情操教育とした「出前講座」を昨年度に引き続き実施した。

上記取組みに関する提言・助言などを頂くため、有識者への意見聴取を行い、業務の円滑な実施に繋げた。